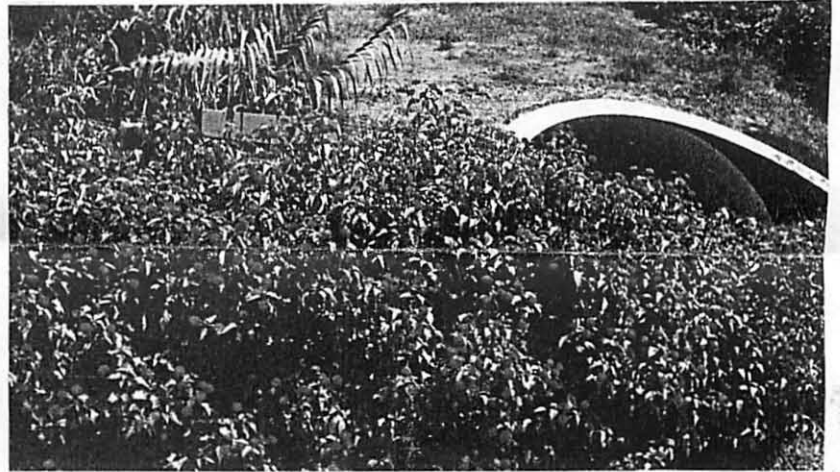
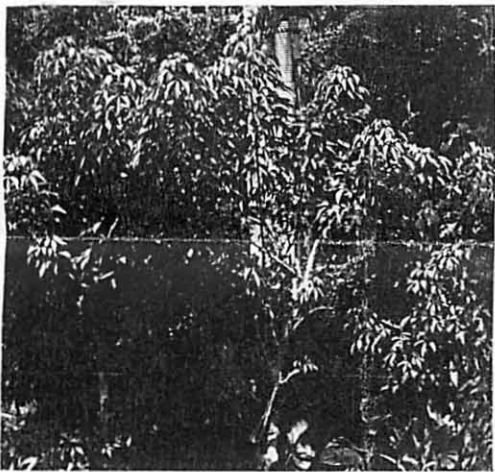


## ツマベニチョウだより (第4号)

◎ 宮浦地区にギョボクが自生していたことが分かりました。

国道220号線を鶴戸方面から宮崎方面へ向かうと立派な宮浦トンネルが見えてきます。このトンネルは3年前に新しく造られたもので、入り口の左側に見事なランタナの群落があり、その左手に元気のよいギョボク7本が並んで植えられています。不思議に思って調べてみますと、とても嬉しいことが分かりました。と言いますのは、このトンネルの掘削される場所にギョボクが自生していることを知っておられた、県総合博物館の南谷現副館長と岩崎学芸員が、「貴重な南方系の樹木なので近くに移植して残して下さい」と要請されたのを受けて、建設省の宮崎工事事務所がここに植えられ、併せてランタナの群落を造られたとのことです。そのランタナが今では2メートルほどにも成長し、素晴らしい景観を作り出しています。(下の写真の右がランタナ左がギョボクです)。そこで早速宮崎工事事務所にお伺いしてお礼を述べ、来春には原木を傷めないようにしますので、挿し木用の枝を戴けませんかとお願いしましたところ、道路管理第一課長の宮崎主税様が快くお許し下さいましたので、ツマベニチョウの誘引運動に弾みがつくことになりました。



◎ 宮浦地区の「木の会」にギョボク80本をお贈りすることになりました。

宮浦の山野に10年前から山桜を計画的に植えておられる「木の会」という村おこしのボランティアグループがあります。現会長は小室工様で会員は18名、会費を徴収して定例の会議を開き、積極的な運動を継続的に展開されていることを知りましたので、前会長の谷川仲夫様に「ツマベニチョウの誘引」についてお力添えをお願いしましたところ、全員のご賛同を得まして、近く拙宅にお出で戴き80本の苗木を貰って下さることになりました。付近には前述の宮浦トンネルの原木もあって、環境的にもいち早くツマベニチョウが定着してくれるものと、今後のギョボクやランタナの増加が楽しみです。

◎ ツマベニチョウの誘引に役立ててと多額の寄付金を頂戴しました。

綾町で画廊を開いておられる山下論様に「翔ベツマベニチョウ」の小冊子をお届けしましたところ趣旨にご賛同賜り、思わぬ大金をご送金戴きました。このお金は有料でしか手に入らないハイビスカスやランタナの購入資金に充てさせて貰い、先の「木の会」を手初めに、これからギョボクを差し上げる際の持参金代わりにしたいと存じます。山下様まことに有り難うございました。

平成10年9月12日

海老原秀夫